

高等学校等の生徒及び保護者の皆様、この制度によって①授業料等減免②給付型奨学金が受けられるようになります。高等学校等又は入学後にも申請できます。（採用条件についてはお問い合わせください。）

2025年度大学等における修学の支援に関する更新確認に係る申請

| | |
|------|----------|
| 学校名 | 香川看護専門学校 |
| 設置者名 | 学校法人尽誠学園 |

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

| 課程名 | 学科名 | 夜間・通信制の場合 | 実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数 | 省令で定める基準単位数又は授業時数 | 配置困難 |
|--------|--------|-----------|-----------------------------|-------------------|------|
| 医療専門課程 | 第1看護学科 | 夜・通信 | 1559 | 240時間 | |
| | 第2看護学科 | 夜・通信 | 1152 | 160時間 | |
| | | 夜・通信 | | | |
| | | 夜・通信 | | | |
| (備考) | | | | | |

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

| |
|-------------------------------|
| 講義要綱に掲載するとともに事務室で自由に閲覧が可能である。 |
|-------------------------------|

3. 要件を満たすことが困難である学科

| |
|-----------|
| 学科名 |
| (困難である理由) |

II. 学外者である理事の複数配置

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.kjc.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/df260a02dcfbbc0a5111ed5e7896525b.pdf>

2. 学外者である理事の一覧表

| 常勤・非常勤の別 | 前職又は現職 | 任期 | 担当する職務内容 や期待する役割 |
|----------|----------------------|---------------------------|---------------------|
| 非常勤 | (株) 三幸商会 代表取締役 | 令和7年5月27日～令和11年5月定期評議員会まで | 法人の管理運営全般自律的運営の促進 |
| 非常勤 | (株) 経営政策研究所 代表取締役 | 令和7年5月27日～令和11年5月定期評議員会まで | 法人の管理運営全般自律的運営の促進 |
| (備考) | | | |

Ⅲ. 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

| | |
|---|------|
| <p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p> | |
| <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>保健師助産師看護師法施行令及び保健師助産師看護師学校養成所指定規則、看護師等養成所の運営に関する指導ガイドラインを遵守し教育課程運営を行っている。</p> <p>学科ごとの教育課程は各授業科目を分野ごとに分け、これを各年次に配当して編成し教育課程一覧、カリキュラム構造図を講義要綱で学生に示している。講義要綱は入学時に利用方法などを説明するとともに、各科目の初回講義時に授業の進め方、学習目標、評価の方法などを再度説明している。</p> <p>授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法については各科目のシラバスの必須の綱目とし、講義要綱として編集し学生に1年次の始業時に配布している。授業計画が変更になった場合は、随時差し替えを行っている。教育課程の中で、臨地実習に関わる部分を実習要綱として区分し、講義要綱に準じて編集している。実習要綱は1年次の実習開始までに利用方法などを説明している。講義・実習終了時には学生による講義・実習指導の評価、卒業時には卒業生によるカリキュラムについての評価を行い、その結果を各学科で8月に検討し、次年度の授業計画に反映させる内容を整理し、各担当教員がシラバスを1月までに作成している。シラバスは各学科で講義調整担当の教員を中心に3月までに、授業形態、到達目標、授業の概要、授業方法などが適正に記載できているか、誤字・脱字の有無などを3回以上チェックしている。実習要綱も講義要綱に準じて、実習調整者の教員を中心に編集している。</p> | |
| 授業計画書の公表方法 | 講義要綱 |
| <p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> | |
| <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学修成果の評価については前期及び後期の終了時に単位認定会議で報告し、履修規程に基づいた単位履修の状況、科目試験結果の分布状況、学習進度の確認を行っている。科目試験結果の下位のものについては、面接を行い学生の状況を把握するように努めている。学生の状況により、個別の学習支援により学習意欲を持続させるよう相談に応じている。</p> <p>後期終了時には、単位認定会議で、出席状況、科目試験結果等から単位履修・進級認定し単位履修状況を学生に通知している。</p> | |
| <p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> | |

| | |
|---|-----------|
| (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) | |
| <p>講義・実習に必要な時間数の出席と当該科目の評価により単位履修を認定している。科目の評価は優(100点～80点)良(79点～70点)可(69点～60点)不可(60点未満)の4段階とし、可以上を合格としている。</p> <p>成績評価の指標は講義要綱、学生便覧にて公表している。</p> <p>成績分布状況はヒストグラムを用いて、到達目標に沿った内容と形式の問題であるかどうか、また、偏向性の有無や問題の妥当性などについて前期・後期で検討している。</p> | |
| 客観的な指標の 算出方法の公表方法 | 講義要綱、実習要綱 |
| 4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 | |
| (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) | |
| <p>卒業要件については、学則、学則細則、履修規程に明文化し、学生便覧によって学生に説明している。各学科において卒業認定に係る学科会議で検討後、卒業認定会議で出席状況、単位履修状況から認定している。卒業の認定・単位認定については文書で通知している。</p> | |
| 卒業の認定に関する 方針の公表方法 | 学生便覧 |

IV.財務・経営情報の公表

1. 財務諸表等

| 財務諸表等 | 公表方法 |
|--------------|---|
| 貸借対照表 | https://www.kjc.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/739c0bce716cf12f8d87b2957e3972c3.pdf |
| 収支計算書又は損益計算書 | |
| 財産目録 | |
| 事業報告書 | |
| 監事による監査報告（書） | |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

A. 第1看護学科

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
|--------|----|-----------------------|------------------------|-----------------------|------------------------|-------------|-------------|
| 医療 | | 医療専門 | 第1看護学科 | ○ | | | |
| 修業年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 3年 | 昼 | 3015 単位時間／ 107 単位 | 1455 単位 時間/62 単位 | 495 単位 時間/21 単位 | 1065 単位 時間/24 単位 | 単位時間 /単位 | 単位時間 /単位 |
| | | | 3015 単位時間／107 単位 | | | | |
| 生徒総定員数 | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | |
| 120 人 | | 86 人 | 0 人 | 9 人 | 55 人 | 64 人 | |

| |
|--|
| カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） |
| <p>（概要）</p> <p>カリキュラムは基礎分野、専門基礎分野、専門分野、統合分野で構成し、1 年次には科学的思考の基礎となり人間と人間の生活を理解できるように基礎分野、専門基礎分野、専門分野の基礎看護学の科目を中心に科目を配置している。2 年次には人間の発達と健康を理解するために専門基礎分野、専門分野の科目を、3 年次には人間の健康障害に焦点を当て、専門分野、統合分野の科目を中心に学ぶように計画している。</p> <p>授業方法は講義、演習、実習を組み合わせ、知識と実践が統合されるように計画的に配置している。</p> |
| 成績評価の基準・方法 |
| <p>（概要）</p> <p>成績の評価は絶対評価とし、学則別表 1 に掲げる科目ごとに行う。但し小科目がある科目は、小科目ごとに、60 点以上を合格とし、科目に含まれるすべての小科目が合格した者に対して当該科目の評価を行う。</p> <p>小科目ごとの点数を履修時間の配分によって統合して当該科目の評価とする。</p> |
| 卒業・進級の認定基準 |
| <p>（概要）</p> <p>卒業・進級の認定は、運営会議の審議を経て校長が行う。</p> <p>卒業は学則の別表 1 に掲げる授業科目の単位をすべての修得し、欠席日数が出席すべき日数の 3分の 1 を超えないという要件を満たしているかという基準に沿って審</p> |

| |
|---|
| <p>議する。 進級は各学年に計画された授業科目の単位の修得及び欠席日数が出席すべき日数の3分の1を超えないという基準に沿って審議する。</p> <p>(2)</p> |
| <p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>1年次より学生を小グループ化し、それぞれのグループに教員1名を相談者として配置し、学習や学校生活の相談に応じている。また、学習進度に応じて模擬試験等を実施し、学習の習熟度を学生とともに確認している。3年次からはグループ学習、一斉講義、模擬試験を年度計画に組み込み学年全体の看護師国家試験対策を実施している。学習に不安のある学生には、学生個々に応じた指導・支援を心掛けている。</p> |

| 卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） | | | |
|---|-----------|-------------------|-------------|
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 (自営業を含む。) | その他 |
| 36人 (100%) | 0人 (%) | 31人 (86%) | 5人 (14%) |
| (主な就職、業界等) 病院の看護師として就業 | | | |
| (就職指導内容) 看護師としての就業を第一に考え、2年次から病院のガイダンスなどへの参加を進めている。3年次には個別に学生個々の希望を聞きながら、性格や家庭状況を踏まえて就職指導している。 | | | |
| (主な学修成果（資格・検定等）) 看護師免許取得 | | | |
| (備考)（任意記載事項） 最近、卒業後すぐに看護師としての就業をめざさない学生現れている。 | | | |

| 中途退学の現状 | | |
|--|----------------|-----|
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 99人 | 4人 | 4% |
| (中途退学の主な理由) 成績不振及び学校生活になじめなかった | | |
| (中退防止・中退者支援のための取組) 学生を小グループ化し、それぞれのグループに教員1名を相談者として配置し、学習や学校生活の相談に応じている。また、学年ごとに担任を配置し、保護者とも情報を共有しながら学生個々に応じた指導を心掛けている。 | | |

B. 第2看護学科

| | | | | | | | |
|----------|----|---------------------------|------------------------|-----------------------|------------------------|-------------|-------------|
| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
| 医療 | | 医療専門 | 第2看護学科 | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 2220 単位時間/ 76 単位 | 1110 単位 時間/44 単位 | 345 単位 時間/15 単位 | 1065 単位 時間/24 単位 | 単位時間 /単位 | 単位時間 /単位 |
| | | | 2220 単位時間/76 単位 | | | | |
| 生徒総定員数 | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | |
| 80人 | | 81人 | 0人 | 6人 | 48人 | 54人 | |

| |
|---|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| <p>(概要)</p> <p>カリキュラムは基礎分野、専門基礎分野、専門分野、統合分野で構成し、1年次には准看護師教育での知識・技術の確認を行い、基礎分野、専門基礎分野と並行し、専門分野の基礎看護学の科目を中心に科目を配置している。2年次には人間の発達と健康を理解するために人間の健康障害に焦点を当てて、専門分野、統合分野の科目を中心に学ぶように計画している。</p> <p>授業方法は講義、演習、実習を組み合わせ、知識と実践が統合されるように計画的に配置している。</p> |
| 成績評価の基準・方法 |
| <p>(概要)</p> <p>成績の評価は絶対評価とし、学則別表1に掲げる科目ごとに行う。但し小科目がある科目は、小科目ごとに、60点以上を合格とし、科目に含まれるすべての小科目が合格した者に対して当該科目の評価を行う。</p> <p>小科目ごとの点数を履修時間の配分によって統合して当該科目の評価とする。</p> |
| 卒業・進級の認定基準 |
| <p>(概要) 卒業・進級の認定は、運営会議の審議を経て校長が行う。</p> <p>卒業は学則の別表2に掲げる授業科目の単位をすべての修得し、欠席日数が出席すべき日数の3分の1を超えないという要件を満たしているかという基準に沿って審議する。</p> <p>進級は学年に計画された授業科目の単位の修得及び欠席日数が出席すべき日数の3分の1を超えないという基準に沿って審議する。</p> |
| 学修支援等 |
| <p>(概要)</p> <p>1年次より学習進度に応じて模擬試験等を実施し、学習の習熟度を学生とともに確認している。2年次からはグループ学習、一斉講義、模擬試験を年度計画に組み込み学年全体の看護師国家試験対策を実施している。学習に不安のある学生には、学生個々に応じた指導・支援を心掛けている。</p> |

| 卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） | | | |
|---|-------------|-------------------|---------------|
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 （自営業を含む。） | その他 |
| 34人 (100%) | 0人 (0%) | 33人 (97%) | 1人 (2.9%) |
| (主な就職、業界等) 病院の看護師として就業 | | | |
| (就職指導内容) 看護師としての就業を第一に考え、1年次から病院のガイダンスなどへの参加を進めている。2年次には個別に学生個々の希望を聞きながら、性格や家庭状況を踏まえて就職指導している。 | | | |
| (主な学修成果（資格・検定等）) 看護師免許取得 | | | |
| (備考)（任意記載事項） 最近、卒業後すぐに看護師としての就業をめざさない学生現れている。 | | | |

| 中途退学の現状 | | |
|--|----------------|------|
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 83人 | 4人 | 4.8% |
| (中途退学の主な理由) 成績不振及び学校生活になじめなかった | | |
| (中退防止・中退者支援のための取組) 学生を小グループ化し、それぞれのグループに教員1名を相談者として配置し、学習や学校生活の相談に応じている。また、学年ごとに担任を配置し、保護者とも情報を共有しながら学生個々に応じた指導を心掛けている。 | | |

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

| 学科名 | 入学金 | 授業料 (年間) | その他 | 備考 (任意記載事項) |
|---------------|----------|-------------|----------|-------------|
| 第1看護学科 | 150000 円 | 540000 円 | 350000 円 | |
| 第2看護学科 | 150000 円 | 540000 円 | 350000 円 | |
| | 円 | 円 | 円 | |
| | 円 | 円 | 円 | |
| 修学支援 (任意記載事項) | | | | |
| | | | | |

b) 学校評価

| | | |
|--|--------------------------------|--|
| 自己評価結果の公表方法 ホームページにて公開 | | |
| (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://kagawakango.ac.jp/basicinformation/evaluation/ | | |
| 学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) | | |
| <p>評価委員長1名、評価委員5名、事務局5名(学校職員)で令和7年2月13日に評価を行った。評価委員は、教育関係者、看護学実習施設の関係者、看護職、高等学校教育担当者で構成されている。委員会ではⅢ.教育課程、Ⅳ.教授・学習・評価課程、Ⅵ.入学、Ⅶ.卒業について評価した。</p> <p>評価方法は、学校自己評価報告書および自己評価の根拠となる資料を学校事務局より事前に提示し、各委員から評価を得た。</p> <p>評価結果に示された課題の中から、自己評価委員会で今年度の取り組むべき重点課題を決定し、運営会議の議を経て取り組む。また、学校関係者評価の結果はホームページに掲載するとともに、報告書を作成する。</p> | | |
| 学校関係者評価の委員 | | |
| | 所属 | 種別 |
| | 国立大学法人 香川大学 医学部 名誉教授 | 令和7年1月20日～ 令和8年1月19日 看護教育関係者 |
| | 個人 | 令和7年1月20日～ 令和8年1月19日 前学校関係者評価委員長 |
| | 三豊総合病院 看護部長 | 令和6年1月20日～ 令和7年1月19日 実習施設看護管理者 |
| | 社団医療法人財団大樹会 総合病院 回生病院 副看護部長 | 令和6年1月20日～ 令和7年1月19日 実習施設 教育担当 |
| | 香川県立琴平高等学校長 | 令和6年1月20日～ 令和7年1月19日 高等学校教育関係者 |
| | 香川短期大学 教授 | 令和6年1月20日～ 令和7年1月19日 短期大学教育関係者 |

第三者による学校評価（任意記載事項）

c) 当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）

<https://www.kagawakango.ac.jp>